

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-4-1 経営革新及び経営基盤の強化への支援
---------	------------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	中小企業課長 野坂一弥	電話番号	0852-22-5883
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	中小企業に対する間接融資事務（中小企業制度融資）		
目的	(1) 対象	県内の中小企業	
	(2) 意図	施設・設備の近代化、経営の合理化等に必要な資金が調達できる。	
事業概要	県内中小企業に長期・低利な資金調達を円滑に行ってもらうため、金融機関に対して制度融資原資の一部を無利子で預託する。また、制度融資の実効性を担保するため、信用保証協会に対し、損失補償及び保証料補給を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 制度融資利用実績	目標値		1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	件
		取組目標値						
	式・定義 融資実績（件数）	実績値	815.0					
		達成率	—	—	—	—	—	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	—	—	—	—	—	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	45,466,284	60,036,122
うち一般財源 (千円)	383,595	360,366

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度の融資実績は815件と前年度に比べて、減少した。 収益体質強化資金（設備投資を行うことにより、収益体質の強化に取り組み者）の融資件数は前年度比で260%と高い伸びを示したが、一昨年度と比較するとほぼ横ばい。多くの資金が前年度と比較すると軒並み前年並みか若干減という実績となった。 平成28年4月～5月の融資実績は対前年比で件数123.5%で増加傾向。 マイナス金利の導入により、民間金融機関の収益源が限られるようになったため、リスクを負ってでもプロパーでの融資を推進しようとする民間金融機関が増加している。
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 県内民間金融機関の貸出金利の低下傾向を受け、平成28年4月1日より全資金の融資利率を0.1%引き下げ（金利改定ルール見直し）
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 融資実績が減少しつつある一方で、民間金融機関による融資が増加しているという現状があるが、その現状は真に制度融資を必要とするような中小企業がプロパー融資に流れていることに起因するものなのか、単純に制度融資を借りたいが借りることができないというものなのか、その把握ができていない。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 商工団体、金融機関、信用保証協会とは適宜連携を行っているが、実際の利用者である中小企業者からの意見等をこれまで直接的に確認していなかった。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 制度融資の利用者である中小企業者の声も踏まえた形での制度設計を行っていく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> より利用しやすい制度となるよう、次の取組が必要である。 商工団体及び金融機関との意見交換、あるいは中小企業者からのヒアリングを通じ、資金ニーズを把握する。 資金ニーズに合わせた資金メニューの見直しを引き続き検討していく。 適宜、融資利率水準の見直し及び、適正な保証料の水準についての検討を実施する。 国の信用補完制度見直しに併せ、制度全体の見直しを検討する。

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--